

たかす町 社協だより

2026年

8月号

No. 203



写真

老人会主催「おでかけツアー」
さくらんぼ狩りの様子

Pick
up!

①・② ページ

令和7年度事業報告

③・④ ページ

令和8年度事業計画

最終ページ

事務所統合のお知らせ

令和8年8月5日発行

★ 事業総括

鷹栖町社会福祉協議会の使命は、住民の願いである「いつまでもこの町に住み続けたい」を叶えるため、住み続けることを拒む住民の困りごとを解決することです。5年に1度行っている全世帯住民アンケートにより明らかになった住民ニーズを基に、困りごとの解決に向け住民・行政・福祉関係者等との連携・協働により、取り組んでいるところです。

また、困りごとの解決だけではなく心の安心も大切なことであり、鷹栖町が心の拠り所になるよう住民同士のつながりをつくり一人ではないことの安心、そして活躍することができる場所を通して自分自身がかけがえのない存在であることを認識できるようなまちづくりを進めてきました。



★ 事業概要

65以上のひとり暮らしの方、孤立しがちな方、気かけないと困りごとに気づけない方などを、民生委員・福祉委員・老人会友愛活動員・ふれあい訪問員・御用聴きサポーターなどにより複合的に見守りを展開しました。特に、65歳以上のひとり暮らしの方を毎月1回定期的に訪問するふれあい訪問員からは、1年間で74件の気になるケースの報告を受け、保健師・包括・さつき会など関係機関に情報提供し一緒に解決に向け取り組むなど、重層的支援体制整備事業の委託を受け活用することで福祉の相談窓口がワンストップになり、相談受付・対応・伴走までの体制が整いました。

見守り活動の進展によりアウトリーチ体制が整い多くのちょっとした気づきの報告を受け、社協などの専門職がアプローチしていますが、現状の見守り体制だけでは困りごとが埋もれている可能性もあり、令和7年度1年間をかけITを活用した新たな見守り活動の調査研究を行ってきました。

令和8年度から、ヤマト運輸（株）と連携し新たな見守り活動を展開します。困りごとの解決にあたり自ら解決する力を養うことも大切であり、令和7年度から受援力（自ら助けを求めることができたり、支援の行為を受け入れること）向上を目指し、様々な講座を実施しました。

日頃の見守り活動によるアウトリーチから高齢者ニーズを把握しており、いつまでも健康でいること、相続、遺言、介護保険の仕組み、介護予防など全6回開催し、136名の参加がありました。講座開催にあたり札幌西円山病院・地域包括支援センター・さつき会・明治安田生命と連携するなど、社協のコーディネート機能を十二分に発揮しました。本講座は大変好評であり、令和8年度も継続して実施する予定です。

町民個々の特技を活かした活躍の場づくりでは、令和6年4月1日より高齢者事業団の事業を継承し、令和2年度から取り組んできた高年齢者の就労支援及び令和5年度から取り組んできた全世代型の就労



支援と統合し、働くことを中心にしながらボランティア活動やまちづくり活動など幅広い活躍の場を創出しました。年間464件の相談を受け、働きたいと願う登録者は令和7年度で87名増え407名となり、10代から80代までの幅広い年齢層で44名が町内企業と雇用契約を結び働くことのお手伝いをしました。介護保険事業に取り組んでいない本会にとって、就労支援事業はいつまでも健康を保つための介護予防事業として重要な役割を担っており、成果も着々と上がっていますし介護人材不足・企業の人手不足など、福祉施設や企業の困りごとである少子高齢化による人手不足解消にもつながっています。

令和7年度は、「第3期鷹栖町地域福祉実践計画」に基づいた事業が始まりました。社協の使命である「いつまでも住み続けることができるまちを創る」ために、①住民同士のつながりがある孤立しない・させないまち、②困ったときは“お互い様”のもと困りごとが解決できる安心なまち、③いくつになっても活躍することができるまちづくりに、今後も取り組んで参ります。

★ 決算概要

法人本部とあったかステーションの事務所が令和8年4月1日より統合するための移転費用・Windows 10サポート期間終了による全職員のパソコン入替費用・他団体への負担金支出など大きな支出があり、9期連続の黒字から赤字へ転じましたがこの支出は一時的なものであり、令和8年度以降は黒字の見通しです。

各部門ごとの収益では、法人運営事業が8,154,866円の赤字、受託事業が4,161,508円の黒字、就労支援事業（公益事業）が277,039円の黒字となっています。法人運営事業は利益を出すことが難しい部門ではありますが、町民が安心して暮らし続けるための在宅福祉サービス事業は必要不可欠であり、そのために受託事業や就労支援事業で収益を出し運用しています。

令和8年度は、高年齢者を重点に就労支援に取り組んできた鷹栖町生涯現役地域づくり環境整備推進協議会の事業を継承し、高年齢者・子育て世代・就職氷河期世代などに対して就労支援を行うため、鷹栖町より新たな委託を受けより安定した経営体制の構築に努めて参ります。



※過去10年間の経営状況

年 度	サービス活動増減差額 ※1	当期資金収支差額 ※2	当期末支払資金残高 ※3
令和7年度	△6,572,284	△6,525,163	7,029,018
令和6年度	1,687,469	4,766,681	13,554,181
令和5年度	625,259	682,972	8,787,500
令和4年度	792,775	807,144	8,104,528
令和3年度	874,358	583,173	7,297,384
令和2年度	1,133,864	1,211,401	6,714,211
令和元年度	△90,425	959,391	5,502,810
平成30年度	984,116	989,219	4,543,419
平成29年度	△1,633,424	65,849	3,554,200
平成28年度	△951,980	931,902	3,488,351

※1 サービス活動増減差額とは、社協本来の福祉活動だけで見た収支を表すもの

※2 当期資金収支差額とは、その年度に入ってきたお金と支払ったお金の差額を表すもの

※3 当期末支払資金残高とは、翌年度の事業運営に繰り越す資金の額を表すもの



基本理念

基本理念

誰もがつながり、安心、健康で
「幸せ」に暮らせる
「あったかす」なまちを目指して



キャッチフレーズ

キャッチフレーズ

いつまでも みんなの居場所 あったかす
～たくさんの かけがえのない ストーリー～

いつまでも住み続けることができるまちづくりを進めていく中で、誰もが住み続けたいと思えるまちにするために、郷土愛を育み鷹栖町が心の拠り所となるよう、具体的に目指す福祉でまちづくりのキャッチフレーズを「いつまでも かけがえのない ストーリー」とし、住民同士のつながりをつくり、ひとりじゃないことの安心、活躍することができる場所を通して自分自身がかけがえのない存在であることを認識できるような、ひとりひとりの生活の物語を大切にしたい心温まるまちを目指します。



ミッション

ミッション

いつまでも 住み続けることが
できるまちを創る



基本目標

基本目標

(1)住民同士のつながりがある孤立しない・させないまち

挨拶運動やふれあい訪問によるつながりづくりや、困りごとの解決や居場所づくりを通して出会いの場を創出することで、『住民同士のつながりがある孤立しない・させないまち』を目指します。

(2)困ったときは“お互い様”のもと困りごとが解決できる安心なまち

困りごとが解決できず悩むことは誰もあり得る中で、困りごとを自分ごととして捉え解決に向け考え行動する主体的な町民を増やしていくとともに、困りごとを抱え込まないよう信頼・相談される社協、他人を気にかける風土を形成し、『困った時は“お互い様”のもと困りごとが解決できる安心なまち』を目指します。

(3)いくつになっても活躍することができるまち

個々のスキルや願いに応じた活躍の場を創出することで、町内会活動を始めとする地域活動やボランティア活動、まちづくりを担うサポーター活動、企業の人手不足解消にもつながる就労活動を活発にし、『いくつになっても活躍することができるまち』を目指します。

★ 事業内容

鷹栖町社会福祉協議会では、“つながり”と“安心”、そして個々のスキルを活かして“活躍”することができるまちづくりを推進し、幸せに満ち溢れたまちを住民の団結により作りあげるため、「**地域実践TAKASUプロジェクト**」を実施します。

T

(つながる)

地域実践プロジェクト

住民同士のつながりがある
孤立しない・させないまちを
作るために



(1) 困りごとや悩みごとを早期発見できるまち

- ①福祉委員会事業の推進
- ②見守り団体交流会の開催
- ③見守り安心サービス事業の推進(新規)(受託)
- ④ふれあい訪問事業の推進
- ⑤歳末たすけあい訪問事業の推進

(2) 誰もが役割をもち、発揮できるまち・災害に強いまち

- ①地域共生社会推進事業の推進(受託)
- ②生活支援体制整備事業の推進(受託)
- ③高齢者向け住宅生きがい活動援助員事業の推進(受託)
- ④共同募金運動の推進
- ⑤災害時支援事業の推進
- ⑥福祉団体(鷹栖町老人会・遺族会・鷹栖町婦人ボランティアクラブ
たかすde寺子屋・きたのde寺子屋)事務局としての運営支援

(3) 安心して子育てできるまち

- ①学校運営協議会コーディネーター事業の推進(受託)
- ②鷹栖小学校・北野小学校・鷹栖中学校と連携した福祉教育の推進
- ③鷹栖高校と連携した地域体験活動の推進
- ④高齢者疑似体験セット貸出事業の推進
- ⑤おうちにサンタがやってくる事業の推進
- ⑥スキーリサイクル事業の推進

A

(安心)

地域実践プロジェクト

困った時は“お互い様”のもと
困りごとが解決できる
安心なまちを作るために

K

(活躍)

地域実践プロジェクト

いくつになっても活躍する
ことができるまちを作るために

(1) 寄り添い続ける相談体制の構築

- ①重層的支援コーディネーター事業の推進(受託)
- ②集落支援員事業の推進(受託)
- ③生活福祉資金貸付事業の推進(受託)
- ④山下・神田金庫貸付事業の推進
- ⑤日常生活自立支援事業の推進(受託)
- ⑥緊急食用食糧等給付事業の推進
- ⑦就職面接時整容準備事業の推進
- ⑧ポータブルトイレ貸出事業の推進
- ⑨買い物支援事業の推進(受託)

(1) 誰もがイキイキと輝いているまち

- ①あったかステーション事業の推進
- ②就労支援事業の推進
- ③ボランティアセンター事業の推進
- ④サポーター活動事業の推進
- ⑤社会参加のきっかけづくり事業の推進(受託)
- ⑥無料職業紹介事業の推進(新規)

令和7年度 決算報告

貸借対照表(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(単位：円)

資産の部 (当年度末)		負債の部 (当年度末)	
流動資産	13,228,097	流動負債	6,199,079
現金預金	7,376,808	事業未払金	2,055,200
未収金	5,172,437	未払費用	3,299,723
未収補助金	586,000	未返還金	60,554
立替金	92,852	職員預り金	608,695
		仮受金	174,907
固定資産	22,779,878	固定負債	14,836,593
基本財産	1,000,000	退職給付引当金	11,778,958
定期預金	1,000,000	退職給付引当金共済会退職給付引当金	3,057,635
その他の固定資産	21,779,878	負債の部合計	21,035,672
車輜運搬具	1	純資産の部	
器具及び備品	4	基本金	1,000,000
退職給付引当資産	11,778,958	第1号基本金	1,000,000
退職給付引当資産共済会退職手当預け金	3,057,635	基金	6,500,000
福祉基金積立資産	3,000,000	福祉基金	3,000,000
ノーマライゼーション基金積立資産	3,500,000	ノーマライゼーション基金	3,500,000
貸付事業貸付金	433,490	国庫補助金等特別積立金	0
その他の固定資産	9,790	その他の積立金	0
		次期繰越活動増減差額	7,472,303
		(うち当期活動増減差額)	△ 6,453,163
資産の部合計	36,007,975	純資産の部合計	14,972,303
		負債及び純資産の部合計	36,007,975

資金収支計算書(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

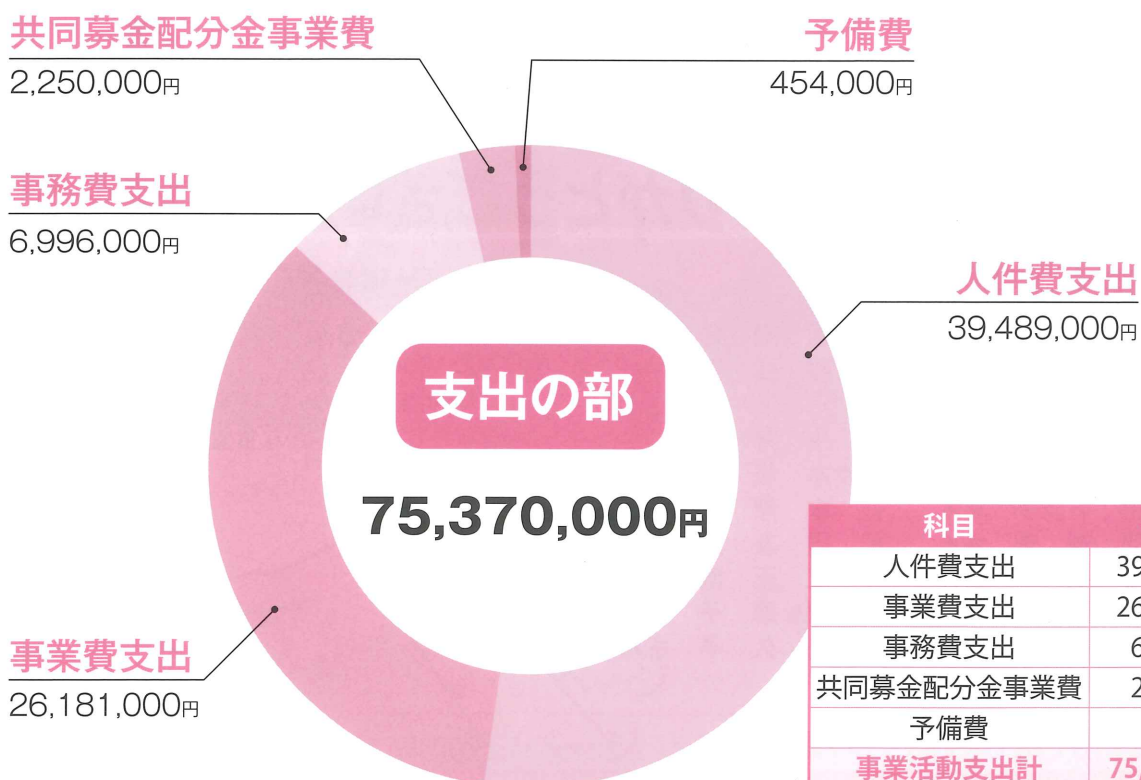
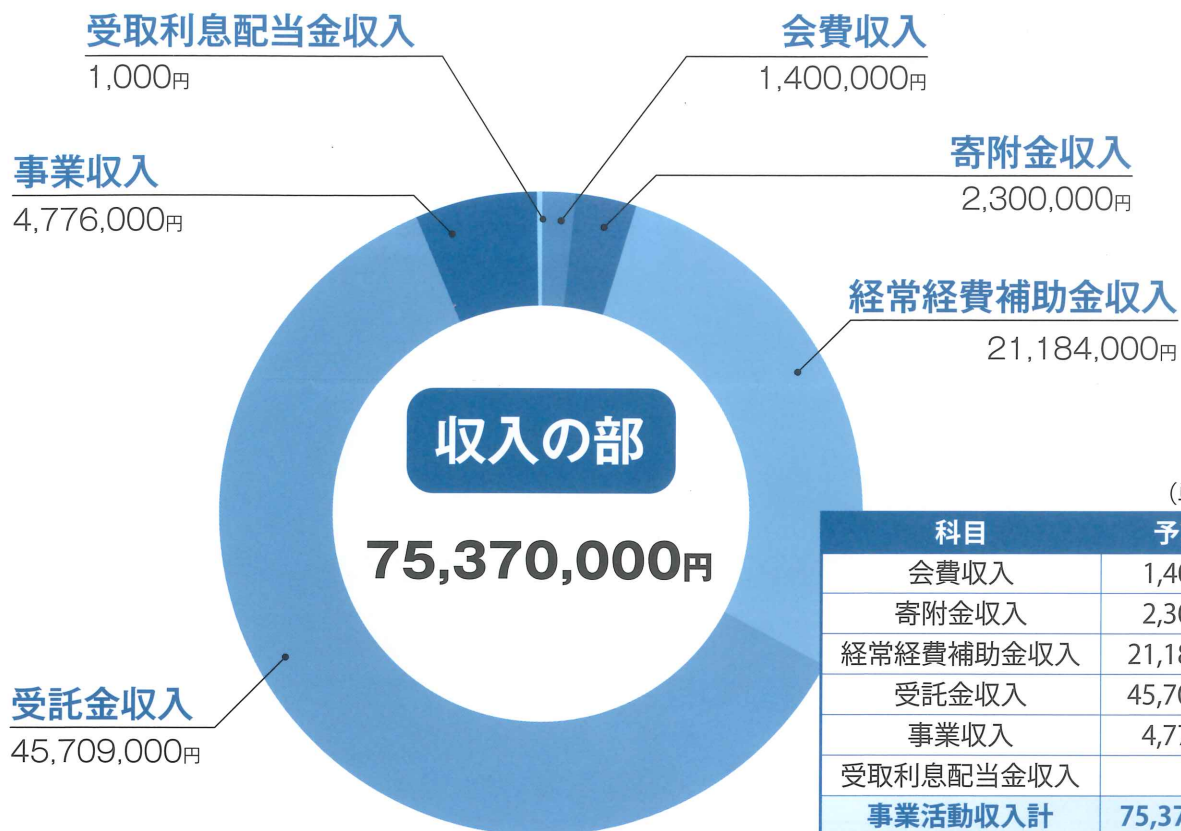
(単位：円)

勘定科目			決算額
事業活動による収支	収入	会費収入	1,454,200
		寄附金収入	806,441
		経常経費補助金収入	10,537,800
		受託金収入	48,186,452
		貸付事業収入	258,000
		事業収入	5,370,555
		受取利息配当金収入	64,221
		その他の収入	54,900
	事業活動収入計 (1)		66,732,569
	支出	人件費支出	37,257,932
		事業費支出	20,143,969
		事務費支出	7,952,669
		貸付事業支出	330,000
		共同募金配分金事業費	839,133
負担金支出		4,000,000	
事業活動支出計 (2)		70,523,703	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		△ 3,791,134	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	35,280
		その他の活動収入計 (7)	35,280
	支出	積立資産支出	2,769,309
		その他の活動支出計 (8)	2,769,309
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		△ 2,734,029
予備費支出 (10)			—
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)			△ 6,525,163
前期末支払資金残高 (12)			13,554,181
当期末支払資金残高 (11)+(12)			7,029,018

当期資金収支差額 △6,525,163円

令和8年度 収支予算書

事業活動による収支



事務所統合のお知らせ

令和8年4月1日から法人本部とあったかステーションを統合し、相談窓口を1か所に集約しました。
職員が連携しやすくなり、より迅速できめ細かな支援を行ってまいります。

統合の目的

- 相談窓口を一本化
- 職員の連携強化
- 迅速な支援体制の構築
- 利用しやすい窓口へ

これまでどおりご利用いただけます

- 就労に関する相談
- 生活に関する相談
- 福祉に関する相談
- 各種申請や手続きなど

所在地

〒071-1201
鷹栖町南1条3丁目2-1 サンホールはびねす2階

法人本部

TEL 87-4451
FAX 87-4451
E-mail takasu-shakyo@iaa.itkeeper.ne.jp

あったかステーション

TEL 87-2354
FAX 87-4451
E-mail atk2354@iaa.itkeeper.ne.jp



地域の皆さまにとって、より身近で相談しやすい社協を目指してまいります。
お気軽にお立ち寄りください。

あたたかいご寄付 ありがとうございました

●香典返しご寄付

平尾京子さん	舟根輝好さん
松川静江さん	大路弘樹さん
岡田靖文さん	森田貢樹さん
菅原恭子さん	田中邦敏さん
宮野稔さん	佐々木辰善さん
石田トシ子さん	打本厚史さん
西間誠志さん	松川友美さん
岩野昭子さん	中江正博さん
川田寿之さん	沓村厚子さん
本間靖和さん	大場久子さん
岡嶋二三子さん	

●社会福祉事業へのご寄付

(株)安川測量 さん
島畑光信 さん
中央地区住民センター さん
ちよっとだいじょうぶかな食堂

